

## はじめに

英語の学習では「コミュニケーション」ができるようになることを目指して努力することは大切ですが、「コミュニケーション」と聞くと、スピーキングを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。しかし、インターネットやメールをはじめとする SNS (Social Networking Service) により、人と人とのコミュニケーションは「話す・聞く」というやりとりよりも、「書く・読む」というやりとりの方が多くなってきています。したがって、ライティングのスキルを伸ばしていくことは、英語でコミュニケーションができるようになるためには必須となります。

このような時代の背景を考慮して、このテキストは、英語でのメールのやりとりを始めとして、相手に自分の伝えたいことを英語で簡潔に書き表すことを、学生が体験的に学べるようにすることを目指して作りました。これまで実際に英語のライティングでのコミュニケーションをあまり行ったことがなくても、このテキストでその基礎とその楽しさの両方を経験できると思います。

各ユニットの活動を見てもらうと、どんな場面や状況で、どんな人に向かって書くのかということが示されています。また、「メールで苦情を伝える」といった活動 (Unit 3) のように、「はい、では苦情を英語で書いてください」と言われても、今、実際に苦情を伝える必要がない状況では何も書けません。そのような場合は、活動の指示の中で実際になりきってもらう役割が提示されています。将来、実際にあり得る状況を想定して、このテキストでは、場面や読み手とともに、自身の状況や役割も具体的に示しているので、より臨場感のあるライティング活動ができます。臨場感がある活動は楽しい活動になるはずですから。そこからこのテキストのタイトルが生まれました。

このテキストのもう1つの特徴は、3つのユニットで1つの大きなスキルを学習することです。Unit 1～3は「メールを書く」、Unit 4～6は「自分について書く」、Unit 7～9は「(経験した) 出来事を描写する」、Unit 10～12は「グラフや図をまとめる」、Unit 13～15は「(自分の) 意見や主張を表明する」とラインアップされています。3つずつ同じタイプのライティング活動を行うことで、より深いスキルの定着が可能となります。何事にも当てはまりますが、しっかりと技能や知識を身につけるためには繰り返しの学習が不可欠です。このテキストでは、3回連続で同じ事柄を学ぶことが退屈にならないように、少しテーマを変化させるなど工夫した作りになっていますので、毎回の学習を楽しみながらしっかりと行って、スキルの定着を図って下さい。

このテキストで学ぶことで、コミュニケーションに必要な英語のライティングのスキルと、英語でやりとりする楽しさの両方を学ばれることを大いに期待しています。

## 本書の構成

本テキストは3ユニットで1つの大きな目標を達成する構成になっています。第1、第2ユニットと、先に進むにつれ徐々に書く量を増やし、第3ユニットの最後（**Write Your Story**）で目標となる文を自分自身で書くまでを一括りと捉えます。各ユニットの構成は以下になります。

### STEP 1 Writing First

ここではテキストのヒントや辞書を頼りに、とりあえず英語で書く練習をします。間違ふことを恐れずにまず書くことで問題意識を学生が認識できるようにします。この英文は、章の後半 **STEP 4** で再び書くことになります（第2ユニットは、若干アレンジを加える形になります）。この2つで、英文の精度がどれくらい高くなったかを測ることができます。

### STEP 2 First Listening / Second Listening / Final Listening

ここでは同じ留守録メッセージやスピーチといった英文を3回聴いて、それぞれに異なったタスクを行います。**First Listening** は内容のメモをとる練習、**Second Listening** は内容理解を問う問題、最後の **Final Listening** はスクリプトのディクテーション（穴埋め形式）問題になります。音声はスピード別に2タイプ（**slow/normal**）あります。クラスのレベルやタスクに合わせて、適したものを選ぶことが可能です。

### STEP 3 Expression Exercise

**STEP 2** の英文で使われた表現を抜き出し、それを活かしてオリジナルの文を書く練習をします。

### Grammar Exercise

ユニットのポイントなる文法・構文などを **Grammar in Use** で説明をしたあとに、その理解を問う作文問題（空所補充形式）を行います。

### STEP 4 Writing Up

**STEP 1** の英文をヒントなしで完成させる問題です。**STEP 1** よりも空所が多くなり、その範囲は第1～3とユニットを経るにつれて多くなります。また第2ユニットでは、英文に少しアレンジを加えた形で完成させます。

### FINAL STEP（第3ユニットのみ） Write Your Story

第1～3ユニットの総括的な問題で、それまでに習ったことを活かして、オリジナルの文を完成させます。完成した文はペアやグループで比較したり、クラスで発表してみてください。

## Contents

---

### [メールを書く]

- Unit 1 Welcome to the Party!** 友人へメールを書こう .....2
- Unit 2 I'm Planning to Study Abroad** 先輩や先生にメールを書こう .....6
- Unit 3 I'm Afraid That It Was Damaged** 苦情のメールを書こう .....10

### [自分について書く]

- Unit 4 Let Me Introduce Myself** 自分の紹介文を書こう .....15
- Unit 5 My Hobby Is ...** 自分の趣味を書こう .....19
- Unit 6 This Is My Dream** 自分の夢を書こう .....23

### [出来事を描写する]

- Unit 7 Isn't It Exciting to Go Out?** 自分の出来事を書こう .....28
- Unit 8 My Memorial Pictures** 写真や絵を説明しよう .....32
- Unit 9 What I Experienced** 印象的な思い出を説明しよう .....36

### [グラフや図をまとめる]

- Unit 10 How Long Did You Sleep?** グラフや図を説明しよう .....41
- Unit 11 I Like Tennis the Best** アンケートをまとめよう .....45
- Unit 12 In My Opinion ...** 調査の結果から意見を言ってみよう .....49

### [意見・主張を表明する]

- Unit 13 Do You Agree with My Idea?** 賛成/反対を表明しよう .....54
- Unit 14 I'd Like to Have a 'Free Space'** 自分の要望を述べよう .....58
- Unit 15 I Will Try My Best to ...** 自分の将来像を書こう .....62

## Unit 3

# I'm Afraid That It Was Damaged

## 苦情のメールを書こう

企業などに商品やサービスに対する苦情のメールを書いてみましょう。



### STEP 1 Writing First



あなたはオンラインショッピングで商品を注文したところ、注文先から以下のようなメールが来ました。まず読んで、内容を理解しましょう。(辞書を使ってもかまいません)

Thank you for your order. We are pleased to inform you that the items were shipped today, May 8th. The estimated arrival date is May 10th. If you have any questions or problems concerning the order, please send an email to our Customer Service.

Sincerely,

到着後、商品に不備があることが分かりました。以下の内容で苦情を伝え、交換をお願いするために、下線部に適切な英語を補い、苦情メールを完成させましょう。

- 電子レンジ (microwave oven) とコーヒーメーカーを買った → レンジの一部が壊れていた
- レンジを返品したい → 新品を送ってほしい

Dear Customer Service,

オンラインショッピングで何をした？

I \_\_\_\_\_ from your online shopping website the other day, and I received them yesterday. I'm afraid that a part of the oven \_\_\_\_\_ . I'd \_\_\_\_\_ to you.

レンジの一部が...

Please \_\_\_\_\_ .

レンジをどうしたい？

I look forward to your prompt reply.

最終的に、何をしてほしい？

## STEP 2 First Listening

slow



normal



あなたのバイト先（自転車の販売修理店）宛に、お客からの苦情メッセージが入っていました。これを聞いて、次の問題に答えましょう。

A. お客が注文した自転車の種類とその色は？（できれば英語で書いてみましょう）

B. お客は何を要求していますか（できれば英語で書いてみましょう）。

## Second Listening

メッセージをもう一度聞いて、次の1～3がメッセージの内容と合っている場合はTに、合っていない場合にはFに○をつけましょう。

1. Ms. Harper received a bicycle last Friday. [ T / F ]

2. Ms. Harper received a yellow bicycle. [ T / F ]

3. Ms. Harper wants a blue bicycle tomorrow. [ T / F ]

## Final Listening

もう一度、メッセージを聞いて、( )に入る語を書き取ってみましょう。

Hello. I'm Patty Harper. I ( ) a ( ) ( )  
from your store last Friday. It was ( ) today. ( )  
( ) ( ) the color is different from what I ordered. I  
ordered a ( ) one, but I received a ( ) one. I'd like  
to know how I should ( ) ( ) to you, and please  
send a ( ) one by the ( ) ( )  
tomorrow. I look forward to ( ) ( ) ( ).  
Thank you.

### STEP 3 Expression Exercise

A. 前ページのお客のメッセージから次の内容を示す表現を書き出してみましょう。

1. 「あなたの店から自転車を購入した」

\_\_\_\_\_

2. 「残念ながら色が違います」

\_\_\_\_\_

3. 「どうやってこれをあなたへ返品するか」

\_\_\_\_\_

4. 「明後日までに青いもの（＝自転車）を送ってください」

\_\_\_\_\_

B. A を参考に、次の内容を英語で表現してみましょう。

1. 「先週、新しいノートパソコンを購入しました」（ノートパソコン＝laptop computer）

I \_\_\_\_\_ .

2. 「あいにく、まだ品物が届きません」（品物＝item, product）

I'm \_\_\_\_\_ yet.

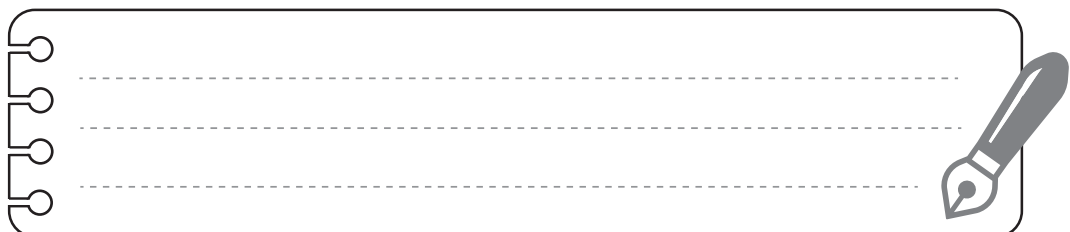
3. 「本日それを返品したいと思います」

I'd \_\_\_\_\_ .

4. 「新品のものを明日送ってください」

\_\_\_\_\_ tomorrow.

C. B の 2 を参考に、「あなたが残念に思うこと」を英語で表現してみましょう。



## Grammar in Use

「心情を表す形容詞 + that」で自分の意向を明確に

□ I'm afraid that... のように、伝える内容について、that の前に形容詞 (afraid / sure など) を置くことで、その内容をどう捉えているかを表すことができます。

I'm afraid that ... (内容 = 好ましくないこと)    I'm sure that ... (内容 = 確信していること)

I'm proud that ... (内容 = 誇りに思っていること)    I'm worried that ... (内容 = 心配していること)

I'm surprised that ... (内容 = 驚いたこと)    I'm glad that ... (内容 = 嬉しいこと)

例) I'm glad that the item was shipped very early.

(商品がとても早く発送されて嬉しいです)

## Grammar Exercise

次はあなたが買った商品についてです。これをヒントに、下線部に適切な英語を入れて一連の出来事を英語で表してみましょう。

- ・先週プリンターを買った→あいにく、破損していた
- ・昨日、返品した→今日、新品が送られたので驚いた

I \_\_\_\_\_ last week. I'm \_\_\_\_\_ that \_\_\_\_\_.

I \_\_\_\_\_, and \_\_\_\_\_ that \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ was delivered today.

## STEP 4 Writing Up

これまでの学習をふまえて、STEP 1 で書いた苦情メールをもう一度書いてみましょう。完成したら、ペアでお互いに比較してみましょう。

Dear \_\_\_\_\_,

I \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_, and \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ that \_\_\_\_\_. I'd \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_. Please \_\_\_\_\_.

I \_\_\_\_\_.

STEP 1 で電子レンジと一緒に注文したコーヒーマシンにも不備があったことが後日分かりました。以下の苦情の内容を全て盛り込めるように、Unit 1～3 で学習した表現や文法を使って苦情のメールを書いてみましょう。

<苦情の内容>

- ・オンラインショップで先日、電子レンジとコーヒーマシンを買った
- ・昨日、コーヒーマシンを使ってコーヒーを入れようとしたが、動かなかった
- ・あいにく箱の中には説明書が入っていないようだ (I'm afraid ~)
- ・返品するので、今週末までにマニュアル入りの新品を送ってほしい (I'd like to ~)
- ・すぐに回答してくれることを要望する (look forward to ~)

\_\_\_\_\_ ,

\_\_\_\_\_ *the other day.*

*Yesterday,* \_\_\_\_\_ ,

*but* \_\_\_\_\_ .

*Also,* \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ . \_\_\_\_\_ ,

*so please* \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ *by this weekend.*

*I* \_\_\_\_\_ .

完成したら、クラスで発表してみましょう。もし時間があれば、実際の企業やメーカーに注文や問い合わせのメールを英語で送ってみて、学習したことを実践してみましょう。